

<本年度会長方針>

もっと知ってもらおう 我々の活動を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 田崎 雅三 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 丹下 富博 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1558回例会

水と衛生月間

平成28年3月10日(木)
SPEAK OUT DAY
於 名古屋東急ホテル

出席計算数 56名
47名中36名出席
出席率 76・60%
前々回出席率 92・16%

例会プログラム

- ★受入青少年交換学生挨拶
- ★春日井社会奉仕委員長 危険ドラッグ撲滅
- ★尾上会議員組織委員 キャンペーン詳細の案内
- ★友達を呼ぼう例会(4月)白案内
- ★春日井社会奉仕委員長 市内25RC社会奉仕委員長 会議支援先活動報告

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮者 渡辺 観永
ピアノ伴奏 富坂 玲子

ゲスト

特定非営利活動法人 全国こども福祉センター
理事長 荒井 和樹さん
学生スタッフ 本田ありかさん
元派遣青少年交換学生 渡辺 彩加

インター

受入青少年交換学生 エドゥアルド・ベンコフスキー
名古屋東南RC 織田 敏之さん
名古屋千種RC 山本 眞輔さん

ミニボックス

全国こども福祉センター 理事長 荒井和樹さん 卓話よろしくお願ひします。 田崎 雅三

酒井 修・小野 定男
全国こども福祉センター 荒井 理事長をお迎えして。春日井和良 林 順治さん、ありがとうございます。 丹下 富博
今日は結婚記念月です。高木 政義 結婚記念月です。 佐々木 功
麻雀大会、久しぶりに優勝しました。 近藤宏一郎
先週の次年度打合せ会、ご苦労様でした！ 林 順治
3月です。春らしくなってきました。 横井 衛

副会長挨拶

酒井 修

今日は3月10日です、明日である東日本大震災から5年になります。この地域におきましても、南海トラフの3連動大規模地震が想定されています。東海、東南海、南海地震は90年から150年の間隔で起きており、昭和19年の昭和



東南海地震、昭和21年の昭和南海地震からすでに70年が経っています。早ければ20年以内にも大規模地震が起ころうと言われるれています。皆様方、対策は成されていますでしょうか。

建築基準法は昭和55年の改正により、旧耐震基準と新耐震基準に大別されます。改正以前と以後ではどのような差があるのかお話しします。

改正以前の旧耐震基準では、気象庁震度階の震度5強程度の中規模地震に対して、ほとんど損傷しないことを検証していますが、震度6弱程度の大規模地震に対して倒壊しないといことは検証していませんでした。新耐震基準では震度6強程度の大規模地震に対してしても、ある程度の被害は許容するものの、倒壊(崩壊)して人命に危害を及ぼすことのない程度の性能を有することを検証しています。旧耐震基準では震度6強程度の大規模地震に耐えられないと思われま。昭和55年以前の建物の耐震診断、耐震改修又は、建替えをお勧めします。

また建物強度とは別に地盤の強度、特に液状化についてお話しします。東日本大震災では、震度5を記録した地域で大規模な液状化が発生しています。揺れの時間が長い場合は、震度4でも液状化する可能性があります。

名古屋市の地盤、地層を見てみ

ますと、名古屋市の中央部は熱田層と呼ばれる洪積層の台地、南端は熱田神宮、北端は名古屋城が位置する熱田台地です。それより東側の矢田川累層、八事唐山層さらに東の名古屋市東部丘陵において液状化はほとんど無いと思われま。その地域内であっても盛土、埋土の部分は土質によっては液状化の可能性があります。熱田層より西側の沖積低地、名河川(矢田川、天白川)の河川流域の沖積低地、さらに国道1号線より南側の埋立、干拓地域が液状化危険度の極めて高い地域となっています。おおむね名古屋地域の面積の半分を占めています。

国土交通省が地盤調査方法、地盤改良の強度等の基準を整備したのは平成13年から最終改正が平成19年です。建物の昭和55年改正より大きく遅れてお。建物の耐震化とは別に地盤調査、地盤改良、杭施工等の地盤の耐震補強もお勧めします。高層、超高層ビルにおける長周期振動に対しては、屋上階等に制震装置の設置をお勧めします。

最後に津波について名古屋市内の最大津波浸水想定地域の浸水高さは、2.5mと想定されています、事前に避難場所を決めておいて下さい。それでも逃げ遅れた時、いざという時に少しでも高い場所に、速やかに屋根に上られる階段、タラップ等の設置をお勧めします。

建物が堅牢であれば、屋根上、屋上は有効な避難場所となります。

■市25RJC社会奉仕委員長の

会議支援生活動報告

特定非営利活動法人

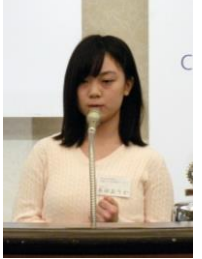
全国JRC福祉センター

理事長 荒井 和樹さん

街頭パトロールや居場所づくりの活動で出会った少年は、タバコや深夜徘徊をするようになり、それが「薬物中毒」や「家庭内暴力」といった特別な子どもではなくなり、子どもも若者の支援というイメージが強いのは施設だと思っています。ところが、児童養護施設など公的な制度の支援を受けられない子どもは一人に対し一年間で約400万円の予算が投入されています。さらに学校・医療にかかわる費用も公費負担です。それに対し、一般家庭のひとり親(母子世帯)の母親の平均年収は約200万円です。どうしたら支援が必要だと思っていますか？



全国JRC福祉センターの活動



今日私と一緒に出席している学生スタッフ(本田)

田)のよう若いメンバーと一緒に掛け活動をして、居場所づくりを行なっています。子どもたちが薬物や不登校・引きこもりに至らないためには、条例で取り締まの指導、あるいは隔離といった方法ではなく、気にかけてくれる友達が必要。子どもたちには必要なのは衣食住よりも「友達」や「つながり」です。子どもたちは「つながり」を求めた結果、似たような境遇の子ども同士、あるいは非行グループにつながり、そこを居場所としてしまっています。

そうした支援の狭間にいるような親子に関して、今起きているような子ども達の深刻な問題(薬物・非行・引きこもりに至る前)から私たちが声をかけよう、何に困っているか、横の「つながり」を通じて、まずは現状を知ることが必要があると思います。彼らは貧困層であることが多く、彼らからお金を取ることはできません。そして、思っている問題があるため、過去に企業等からの支援は受けられていませんが、今回のようにRJCの皆さんから支援していただくことで、今後も彼らの居場所を「社会のなか」で作る事が

できると思います。ぜひとも継続的な支援を賜りますようお願い申し上げます。

■受入青少年交換学生挨拶

エドワード・ペンコラスキー

ピーチは長いから面白いと思います。僕が日本に来て半年がたちました。さきん僕はロータリーの方だから、このようにしていいと思います。

川畑さんと北海道のさっぽろ市に行きました。いちごのためにさっぽろのゆるいなフーメンを食べました。お昼のあと、雪まつりを見に行きました。てっかいちごつくくがありました。僕のせは高いけど、その日にさっぽろにまかせました。JRCのちよひは一番すかたかと思えます。たくさんしゃべるとりました。「カメカメハー」のポーズでしゃべりました。

ふつかめに私たちは川畑さんのともだちとあそびました。その日の夜に飯にたくさんを食べてました。



受入青少年交換学生挨拶

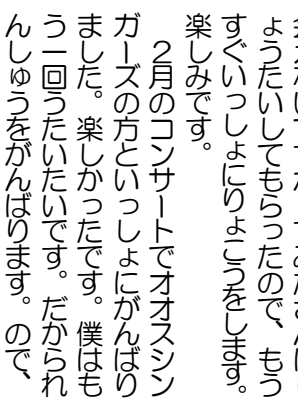
した。おなかがおもかったです。おいしかったです。

それから、僕はあかむらさのにおくさんにジムにつれて行ってもらいました。いっしょにジムでうんとついでフルにはいりました。気持ちよかったです。リラックスしました。イオンでおかむらさんのおくさんのいもつのかそくと会いました。夜に飯にピザを食べました。ご飯の前につせん学校のともだちに会いました。日本にはくさんのイオンモールがあるので、ともだちに会えないと思いましたが、会いました。びっくりしました。おかむらさん、ありがとうございます。

次の日にさすがいさんと二人でおんたけスキーしようでスキーをしました。さすがいさんと二人スキーにつれて行ってました。本場にうれしかったです。これからはあつくなつてスキーに行けないのでいっしょにスケートボードしましよう。よろしくお願ひします。さすがいさん、ありがとうございます。

僕は僕のカウンセラーにあまの会えないですが、すみださんにいようたいしてもらったので、もうすべいっしょにしようと思っています。楽しみます。

2月のコンサートでオオスンガースの方といっしょにがんばりました。楽しかったです。僕はもう一回つたいたいです。だからうれしゅうをがんばります。ので、



受入青少年交換学生挨拶

おおいだのコンサートでうたいたいです。

11月の月曜日に行きたかったUSJに行きました。たききさんがお金を貸してくれたおかげです。僕はついでにすすすすすすジェットコースターについで気持ちよかったです。USJのジェットコースターはくわくわくおももしろいです。その日もたききさんしゃべりをとりました。「スプッシュ」する人とししゃをUSJしました。帰る時におおなかのおいしいうどんを食べました。本場に楽しかったです。たききさん、ありがとうございます。

まだくわくわくするところがあります。けど、今日のスキーは楽しいですね。だからくわくわくしています。皆さん、本場にあげようと思います。またよろしくお願ひいたします。ありがとうございます。

3月24日(木)例会のご案内
卓話

「花粉症のお話」
藤田保健衛生大学医学部
耳鼻咽喉科教授

内藤 健輔さん
内藤 明さん
紹介者
広報委員会
前田 隆久
大澤 伸悟・杉浦 令淑
*本文は、原則、頂いた
原稿を転載しています。